

# 第 73 回

# 全日本産業別柔道大会



期日	2025年11月23日(日・祝)	場所	講道館
主催	全日本実業柔道連盟	主管	東日本実業柔道連盟
後援	(公財)講道館・(公財)全日本柔道連盟		

# ここに、ALways OK



## **ALSOK**

24時間365日駆けつけ。お家に非常ボタンがある安心を。

# HOME **ALSOK** コネクト Connect

24時間  
365日受付



0120-39-2413

サンキュー

ツヨイ

ミカタ



◀詳細はこちらへ



## ごあいさつ

全日本実業柔道連盟

会 長 小堀 秀 毅

本日、ここ講道館において「第73回全日本産業別柔道大会」が開催されますことを誠に喜ばしく思います。

本大会は、昭和28年以来、企業の枠を超えて業種別にチームを編成し、覇権を競う一方で、相互の交流や親睦を深める場として開催されてきた大変意義深い大会であります。令和4年より、階級別の団体戦として新たな試合方式で行われていますが、今回8部門からのご参加をいただきました。これも会員企業の皆様方の実業柔道に対するご理解とご支援の賜物であると厚く御礼申し上げます。

さて、今年6月に、ハンガリーのブダペストで開催されました世界選手権大会では、日本選手団は個人戦で金6個を含む14個のメダルを獲得し、加えて男女混合団体戦でも銅メダルを獲得するなど、日本柔道のレベルの高さを改めて世界にアピールする事が出来ました。選手の皆さんには、2026年のアゼルバイジャン世界選手権大会などそれぞれの目標に向け、実力を存分に発揮して戦って頂くことを期待します。

また、当連盟の選手の皆さんは、柔道選手であるとともに、嘉納治五郎師範が終生取り組まれた「柔道を通じた人づくり」を具現化する、礼節を重んじる良き社会人であるべきであり、柔道はその修養の場でもあります。本大会においても、正々堂々と試合に臨み、日頃の鍛錬の成果を遺憾なく発揮してください。そして、各方面のご支援に改めて感謝し、更に社会全体の発展に貢献するために、これからも精進を重ねていただくことを願っております。

最後に、本大会の開催運営に多大なご尽力を賜りました大会役員をはじめ関係者の皆様方に厚く御礼を申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。

# 第 73 回 全 日 本 産 業 別 柔 道 大 会 実 施 要 項

1. 日 時 2025年11月23日(日・祝)午前8時20分(開場) 9時45分時開会式終了後試合開始
2. 場 所 講 道 館 〒112-0003東京都文京区春日1-16-30 電話03-3818-4893
3. 主 催 全日本実業柔道連盟
4. 主 管 東日本実業柔道連盟
5. 後 援 (公財)講道館、(公財)全日本柔道連盟
6. 参 加 資 格 (1) 全日本柔道連盟に登録した者であること。  
(2) 全日本実業柔道連盟に加盟し年会費を納めた会員企業に在籍し、全日本実業柔道連盟に選手登録している者。※年会費未納の場合は参加できない。
7. 試 合 要 項 (1) 出場部門は産業別に編成する。  
(2) 部門編成は役員(監督、助監督、コーチ、主務、トレーナー)8名、登録選手は3階級で18名以内とし、73kg以下、90kg以下、無差別級で各階級6名以内 計18名以内とする。  
但し、2社以上の会社単位より登録し選手編成は1事業所当たり10名を超えることはできない。また参加部門の監督は全日本柔道連盟指導者資格Cライセンス以上の既得者とする。  
(3) 試合方法  
試合は出場部門をAブロック・Bブロックに分けてリーグ戦を行い、各ブロックの1位による決勝戦と2位による3位決定戦を行う。  
イ. 試合時の選手編成は12人制とし、選手配列は、先鋒から軽い階級順73kg以下4名、90kg以下4名、無差別級4名とする。  
その各カテゴリー内での選手選出は試合ごとに自由とする。  
また、本大会において上記に登録した階級より重い階級で試合に出場することが出来る。  
(73kg登録)・・・90kg・無差別級に出場可、(90kg登録)・・・無差別級に出場可。  
但し、一度登録外の階級出場した場合、再び登録階級に戻ることはできない。  
第1試合のオーダーは試合当日9時00分までに大会本部に提出する。  
第2試合以降は、自部門の試合が終了後、または次対戦部門試合終了後、5分以内に提出すること。未提出により5分経過した後は、自動的に前回戦のオーダーのとおりとなる。  
ロ. チーム間の勝敗は次により決定する。  
①勝者数の多いチームを勝ちとする。  
②①で同数の場合は一本勝、不戦勝ち、棄権勝ち、相手の反則負け>技有>有効>僅差の勝の内容により上位を決める。  
③勝数・内容が同一の場合は、任意選出1名による代表戦を行う。代表戦で「引き分け」の場合は、ゴールデンスコア(延長戦)により勝敗を決する。ゴールデンスコアで両者反則負けで勝敗が決しない場合は、再び任意選出にて代表戦を行う。代表戦で「引き分け」の場合は、ゴールデンスコア(延長戦)により勝敗を決する。なお、リーグ戦終了後の順位決定において内容(1. チームの勝ち数、2. チームの勝ちの内容、3. チームの負け数、4. 直接対決での勝者)により順位を決定する。  
(4) 柔道衣について  
2022年1月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールで実施する。  
全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。  
柔連柔道衣規格合格品のリストは全日本柔道連盟のホームページを参照のこと。  
柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。(主催者は予備の柔道衣を準備しない)  
(5) ゼッケンについて  
布地は白色とし、苗字を上部2/3、チーム名を下部1/3に男子は黒文字で記載する。サイズについては縦25cm～30cm、横30cm～35cmとすること。縫い付け位置は後襟から5cm～10cm下部に縫い付けること。
8. 計 量 大会当日午前8時30分から午前9時00分までの間、「73kg以下」及び「90kg以下」の計量を実施する(+2kgまで認める)なお、無差別級の計量は行わない。  
※計量は、部門ごとに計量者全員がまとまって行う。  
※計量場所：講道館新館2階教室



9. 審判規定 (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定で行う。(2025～2028)  
 (2) 試合時間 4 分間。  
 (3) 優勢勝ちの判定基準は「有効」又は「僅差」以上とする。  
 ※「指導」差が 2 対 0 になった場合「指導」0 の選手を「僅差」勝ち、「指導」差が 1 は引分け。  
 (4) 「技の内容」と「指導」の重み。※【一本勝＝反則勝＞技あり＞有効＞僅差】の順とする。  
 (5) 代表戦については、個人戦同様で「僅差」決着なし。
10. 申込方法 (1) 申込期日 10月17日(金)厳守とする。  
 (2) 申込書 別紙申込書を使用し、生年月日と全柔連登録番号は明確に記入すること。  
 (3) 申込先 〒107-8511 東京都港区元赤坂1-6-6 総合警備保障㈱内 東日本実業柔道連盟  
 TEL：03-3402-7528 FAX：03-3402-7538 E-mail：higashijudo-j@alsok.co.jp  
 (4) 選手変更 11月14日(金)～18日(火)17時00分まで東実柔連事務局宛メールにて受け付ける。  
 大会申し込み後にメールにて案内をする。※大会前日の選手変更は無し。  
 ※但し選手変更については、参加申込時メンバーより各階級登録外選手 2 名以内とする。
11. 抽選会 10月24日(金)午後 4 時より、ALSOK 本社内会議室にて大会役員立会いの上、組合せ抽選会を厳正に行う。
12. 表彰 優勝(賞状・優勝旗・優勝杯・賞品)、準優勝(賞状・賞品)、3 位(賞状・賞品)を表彰する。優秀選手賞は 7 名(優勝部門 3 名・準優勝部門 2 名・3 位部門 2 名)を表彰する。
13. 参加料 参加料は 1 部門当たり 150,000 円とする。  
 振込先 全日本産業別柔道大会事務局 三井住友銀行本店 営業部普通 9028311
14. 代表者会議 集合形式の会議は開催せず、事前に参加部門へ案内をする。
15. 審判員 (1) 全日本実業柔道連盟により委嘱する。  
 (2) 試合当日 9 時 15 分より講道館 7 階大道場・第 3 試合場にて、審判会議を開催する。
16. 開閉会式 (1) 9 時 45 分より開会式を行うので、出場選手は柔道着を着用の上参加すること。  
 (2) 表彰式・閉会式について、入賞チームは柔道着を着用の上参加すること。
17. 傷害保険 本大会において当連盟は傷害保険(死亡、後遺障害、入院に適用)に加入する。但し、試合中の傷害に対する補償のみとする。その他の保険は各社又は各人は自己責任にて必ず傷害保険に加入すること。
18. 出場部門 出場部門は以下の 8 部門を予定する。  
 繊維部門、医療・警備部門、官公庁部門、建設・電機・機械部門、鉄鋼部門、運輸部門、J R 部門、食品・印刷・サービス部門。
19. 特記事項 (1) 皮膚真菌症(トンスランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。  
 感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手は、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。  
 大会時に、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。  
 (2) 脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。  
 ・大会前 1 ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。  
 ・大会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。(受傷した時点で必ず専門医を受診すること)  
 ・練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。  
 ・上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出すること。  
 (3) 大会で撮影された写真および映像の肖像権は、主催者側に帰属する。  
 (4) プログラムに掲載する大会申込情報は、ホームページに掲載する。

以上

## 第73回 全日本産業別柔道大会役員

(順不同)

名 誉 会 長	宗 岡 正 二			
名 誉 顧 問	浅 野 敏 雄	村 井 温	森 詳 介	
会 長	小 堀 秀 毅			
副 会 長	村 井 豪	松 本 秀 作		
常 任 顧 問	内 海 章 雄 唐 池 恒 二 橋 田 紘 一 山 口 英 彰	内 海 健 雄 佐 藤 貴 史 三 好 忠 満 米 澤 隆 弘	江 口 孝 戸 高 善 之 森 口 嘉 久	
顧 問	大 山 昭 三 渡 辺 軍 三	瀬 戸 口 正 征	山 本 裕 洋	
参 与	浅 賀 健 一 小 林 章 竹 元 紀 夫 丸 谷 武 久 藪 宏 明	大 橋 武 彦 小 林 次 雄 中 村 真 一 水 谷 久 夫	柏 倉 伸 司 高 橋 茂 橋 本 上 水 野 寛 之	
大 会 顧 問	大 塚 陸 毅			
大 会 参 与	福 田 寛 西 坂 徹	島 本 貴 洋	伊 吹 隆 直	

大会委員長

佐藤 輝

大会副委員長

諏訪 剛

田中 裕二

大会委員

中栗岡木中  
日山渡阿  
宇賀川柴  
壺永中藤  
前柳石小  
小佐志中  
樋三矢山  
村原泉村  
浦田邊部  
高持下田  
阪井山本  
澤井野泉  
藤々場濱  
口浦寄本  
佳孝博淳  
慎利裕敏  
菜道裕宗  
昌亮栄保  
竜勇友將  
真真翔雄  
央至茂行  
子司彦二  
幸絵明一  
輝博平修  
二幸久太  
輝厚等夫  
吾広平太  
勉

丸児岡齋  
中松山秋  
伊及河喜  
高樋中橋  
古松山乾  
河甲重高  
中久御藪  
横田島本  
藤村岡本  
元嶺川合  
多宮川嶋  
場田阪本  
原能原松  
村富手田  
井廣廣秀  
義義利朝  
幸宏康三  
和昌典義  
正雄兼勝  
大幸健  
行政有二  
元之剛幸  
介雄和之  
廣純郎大  
直誉実昭  
太武努太  
三之作士  
二

三池貝薪  
西山山淺  
宇金川小  
樽永中福  
古松吉大  
君齊白田  
早松望山  
吉好田山  
谷川岸脇  
沼都丸北  
島谷井村  
見宮村蘭  
熊塚藤神  
中川本月  
本岡伊紀  
仁裕理国  
明周一哲  
航伸友洋  
健勇将政  
恒哲寛憲  
修義和正  
郎之美翠  
知二悟任  
博人平朗  
子生一子  
二司太史  
則一治仁  
幸三勝博  
人

# Mobility Link

タイムズは、駐車場を含めたすべてのサービス拠点を、  
快適なモビリティライフを送るために必要不可欠な場所に変え、  
人々にとって魅力的な、モビリティ・リンクを形成していきます。



**We make life better**

当たり前になる快適さを、次々と。

(国内) パーク24株式会社 タイムズ24株式会社 タイムズモビリティ株式会社 タイムズサービス株式会社 タイムズコミュニケーション株式会社  
パーク24ビジネスサポート株式会社 タイムズサポート株式会社 タイムズイノベーションキャピタル合同会社  
(海外) 台湾普客二四股份有限公司 TIMES24 SINGAPORE PTE. LTD. TIMES24 MALAYSIA SDN. BHD.  
SECURE PARKING PTY LTD. NATIONAL CAR PARKS LIMITED

パーク24グループは、ニッポン柔道を応援しています。

(順不同)

剛 訪 誨 長 判 審

審判委員 金丸明人 向井幹博

人二仁文	雅裕寛	部邊中藤	阿渡田工	子司一行行	郁眞洋義吉	川山品野地	稻尾千上甲	衡郎太力香	三正紀綾	村嶋原元田	岩中河秋本	員	判	審
------	-----	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	---	---	---

優秀選手選考委員 諏訪 剛 田中 裕二

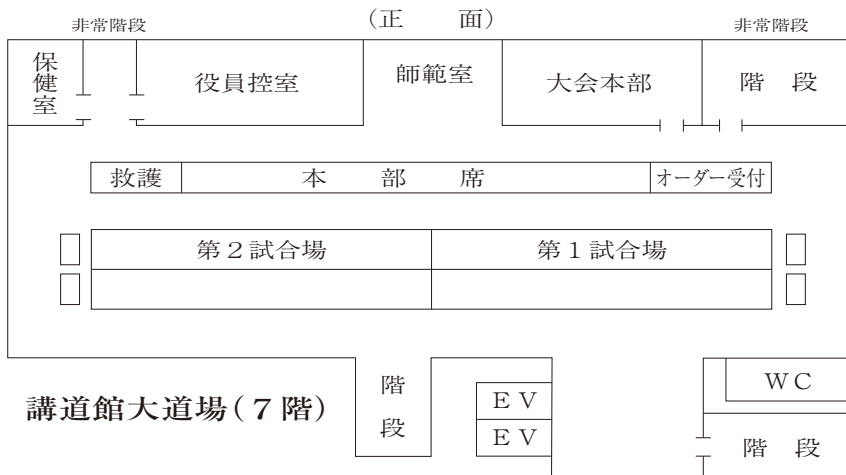
文郎二弘子	敏三裕昌路	瀬和岸阪下	牧中山壺木	行章一司弓晶	廣裕裕真雅	田林下山矢木	丸小川中大鈴	央之二剛翠二	佳清秀裕	村木藤本谷瀬	中荒斎山薪川	係	務	總
-------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	------	--------	--------	---	---	---

試合場責任者 手柴宗一郎 石塚康太郎 平方大喜

救護係長 岡英山 根孝之 吉田和永

補 助 係 員

高輪学園									
中 川 剛 大	鵜 澤 橙 也	蒔 田 景 一 郎							
市 川 煌 士	森 田 唯 仁	渡 邊 裕 功							
桐朋学園									
岡 澤 鳳 修	岡 田 煌 史	大 西 春							
渡 邊 景 太	宮 地 天 晴	東 川 航 己							





# SENKO

物流から、明日を創る。



## Aブロックリーグ戦 組み合わせ

第1位：\_\_\_\_\_

第2位：\_\_\_\_\_

No.		1	2	3	4	勝 負	順 位
チーム名		食品・印刷・サービス	鉄 鋼	官 公 庁	運 輸	勝-負-分	
1	食品・印刷・サービス		①-1	①-3	①-6		
2	鉄 鋼	①-1		①-5	①-4		
3	官 公 庁	①-3	①-5		①-2		
4	運 輸	①-6	①-4	①-2			

※①は、試合場-試合順

試合順序	第1試合場		
1	食品・印刷・サービス部門	VS	鉄 鋼 部 門
2	官 公 庁 部 門	VS	運 輸 部 門
3	食品・印刷・サービス部門	VS	官 公 庁 部 門
4	鉄 鋼 部 門	VS	運 輸 部 門
5	鉄 鋼 部 門	VS	官 公 庁 部 門
6	食品・印刷・サービス部門	VS	運 輸 部 門
7	決 勝 戦		



《Aブロック》

食品・印刷・サービス					鉄 鋼				
選手別	階級	段位	氏 名	所 属	選手別	階級	段位	氏 名	所 属
監 督 助 監 督 〃			吉 蘭 勇 太	ダ イ コ ロ	監 督 助 監 督 〃 〃 〃 〃 〃 〃 コーチ・主務			齋 藤 俊	日本製鉄・広畑
			藤 猪 省 太	日本エースサポート				出 口 嘉 之	戸 高 鉦 業 社
			海 老 沼 聖	パ ー ク 2 4				細 田 真 史	〃
								川 北 周 平	JFEスチール
								竹 本 五 成	日本製鉄・大分
								大 瀧 誠 士	日本製鉄・名古屋
								岩 本 英 樹	日本製鉄・本社
								守 屋 幸 裕	日本製鉄・室蘭
選 手					選 手			西 山 大 希	日本製鉄・広畑
								谷 井 大 輝	〃
	73	5	佐 藤 雄 哉	日本エースサポート		73	初	上 原 翔 希	日本製鉄・大分
	73	2	旭 征 哉	〃		73	2	佐 藤 周 也	戸 高 鉦 業 社
	73	4	近 藤 隼 斗	パ ー ク 2 4		73	3	弓 矢 健 奨	日本製鉄・本社
	73	4	前 山 昌 平	ダ イ コ ロ		73	2	諏 訪 部 仁	〃
	73	無	コーリスグラハ	〃		73	2	門 馬 友 規	〃
	73	2	小 田 優 斗	〃		73	3	別 所 晃 己	JFEスチール
	90	3	田 中 航 太	日本エースサポート		90	3	布 施 智 章	日本製鉄・本社
	90	4	森 健 心	パ ー ク 2 4		90	3	高 橋 輝	日本製鉄・室蘭
	90	3	北 條 嘉 人	〃		90	2	原 祐 介	〃
	90	3	塚 本 綾	〃		90	3	戸 田 将 太	日本製鉄・広畑
	90	3	田 中 裕 大	〃		90	3	石 田 幸 伸	〃
	90	初	案 浦 小 虎	ダ イ コ ロ		90	初	松 岡 拓 哉	JFEスチール
	無差別	4	関 根 聖 隆	日本エースサポート		無差別	2	佐 藤 翔 太	日本製鉄・大分
	無差別	3	大 村 康 太	〃		無差別	2	長 澤 樹	戸 高 鉦 業 社
	無差別	3	園 田 陸 斗	〃		無差別	2	濱 本 優 希	日本製鉄・名古屋
	無差別	3	松 村 颯 祐	パ ー ク 2 4		無差別	3	石 村 健 真	日本製鉄・広畑
	無差別	3	藤 鷹 裕 大	〃		無差別	3	山 元 隆 一	〃
	無差別	4	グリーンカラニ海斗	〃		無差別	3	森 田 和 志	〃

官 公 庁					運 輸				
選手別	階級	段位	氏 名	所 属	選手別	階級	段位	氏 名	所 属
監 督 助 監 督 コ ー チ 主 務 トレーナー			赤 迫 佑 介 尾 張 太 一 河 村 誓 伊 能 雄 助 大 金 良 二	東 京 拘 置 所 水 戸 刑 務 所 府 中 刑 務 所 千 葉 刑 務 所 東 京 拘 置 所	監 督 助 監 督 コ ー チ 主 務			中 村 裕 次 郎 山 脇 悟 古 田 昌 直 渋谷 蓮	羽田タートルサービス 日 本 通 運 セ ン コ ー 羽田タートルサービス
選 手	73	3	須 山 健 介	府 中 刑 務 所	選 手	73	3	佐々木光太朗	日 本 通 運
	73	3	多 田 風 太	東 京 拘 置 所		73	3	竹 下 徹	〃
	73	2	麥 間 亮 汰	水 戸 刑 務 所		73	3	立 石 倫 太	セ ン コ ー
	73	3	眞 下 一 馬	横 浜 刑 務 所		73	3	福 島 大 樹	〃
	73	3	子 安 麟 太 郎	千 葉 刑 務 所		73	3	日 野 敬 史	羽田タートルサービス
	73	3	伴 直 哉	川越少年刑務所		73	2	池 福 祐 基	三菱ケミカル物流
	90	3	三 笠 蒼 樹	府 中 刑 務 所		90	3	中 村 洸 登	日 本 通 運
	90	3	板 井 琉 成	東 京 拘 置 所		90	3	影 浦 力	〃
	90	3	瀬 部 晟 也	横 浜 刑 務 所		90	3	宮 崎 楓 梧	セ ン コ ー
	90	3	小 倉 浩 文	千 葉 刑 務 所		90	3	金 田 公 汰	〃
	90	3	三 ツ 石 岳 大	東 京 拘 置 所		90	3	塩 沢 忠 冲	羽田タートルサービス
	90	2	岡 田 穰	川越少年刑務所		90	3	斉 藤 群	三菱ケミカル物流
	無差別	3	山 本 亮 馬	府 中 刑 務 所		無差別	3	臼 倉 汐 斗	日 本 通 運
	無差別	4	長 谷 川 優	川越少年刑務所		無差別	3	木 村 亮 太	〃
	無差別	3	中 根 健 志	水 戸 刑 務 所		無差別	3	吉 井 拓 海	〃
	無差別	3	石 川 竜 多	〃		無差別	3	石 本 光 樹	セ ン コ ー
	無差別	3	田 崎 拓 也	横 浜 刑 務 所		無差別	2	中 島 亮	〃
	無差別	3	野 口 綱 太	千 葉 刑 務 所		無差別	3	莊 司 英 寿	三菱ケミカル物流

ぐうわ  
**イソップ寓話のウサギとカメ**  
**足の遅いカメのとした戦略は**  
**こつこつとただ、歩き続けることだった。**

スタートダッシュで差がついたときも

眠るウサギを追い越したときも

ゴール前で歓声を浴びているときも

次の一步を確実に踏むために

きっとカメは前だけを見ていた。

人目をひくわけでもなければ

結果がすぐにでるわけでもない。

それでも、目の前のことをきっちりとやりきった。

揺るがないこと。それは静かなる強さだ。

このカメのように着実に。

そんな思いを胸に

羽田タートルサービスは始まった。

最初はたった一人

空港のリムジンバスの洗車から。

地道に結果を積み上げて

少しずつ仲間を増やして

空の安全を守る空港事業へ

人とものを繋ぐ物流事業へ

こつこつと私たちは進み続けた。

スタートをきった1978年。

あれからやれることは増えた。

でも、やるべきことはかわらない。

まだ先のゴールに向かって

—— **今日も、一步。**



一步一步、着実に



**羽田タートルサービス株式会社**

【本社】〒144-0043 東京都大田区羽田5丁目3番1号 スカイプラザオフィス 12階

採用サイトは  
こちらから



#### 空港事業

空港ハンドリング業務・航空貨物取扱い・旅客案内や警備関連全段まで空港のインフラをサポートしております。



#### 物流事業

小規模の請負業務から500名を超える大規模な請負業務までお任せください。安心で高品質な物流アウトソーシングを提供しております。

## Bブロックリーグ戦 組み合わせ

第1位：\_\_\_\_\_

第2位：\_\_\_\_\_

No.		1	2	3	4	勝 負	順 位
チーム名		織 維	医療・警備	J R	建設・電機・ 機械	勝－負－分	
1	織 維		②－1	②－3	②－6		
2	医療・警備	②－1		②－5	②－4		
3	J R	②－3	②－5		②－2		
4	建設・電機・ 機械	②－6	②－4	②－2			

※②は、試合場－試合順

試合順序	第2試合場		
1	織 維 部 門	VS	医療・警備部門
2	J R 部 門	VS	建設・電機・機械部門
3	織 維 部 門	VS	J R 部 門
4	医療・警備部門	VS	建設・電機・機械部門
5	医療・警備部門	VS	J R 部 門
6	織 維 部 門	VS	建設・電機・機械部門
7	3位決定戦		

《Bブロック》

組織					医療・警備				
選手別	階級	段位	氏 名	所 属	選手別	階級	段位	氏 名	所 属
監督			吉 田 優 也	旭 化 成	監督			小 橋 秀 規	A L S O K
助 監 督			沼 田 康 弘	東 レ	助 監 督			新 納 啓 介	セントラル警備保障
〃			渡 邊 竜 一	ク ラ レ	コ ー チ			松 井 陽 子	松波総合病院
〃			石 井 孝 敏	帝 人	〃			江 藤 広 幸	リンクスタッフグループ
主 務			矢 部 雅 和	ク ラ レ	〃			森 雄 二	北関東総合警備保障
〃			西 澤 昌 樹	東 レ	〃			八 山 清 継	A L S O K群馬
〃			土 居 祐 己	帝 人	トレーナー			山 平 光 利	A L S O K
〃			桑 畑 政 幸	旭 化 成					
選 手	73	3	本 田 祥 万	東 レ	選 手	73	3	長 谷 晃 希	松波総合病院
	73	2	小 寺 圭 佑	〃		73	2	森 慎 乃 介	〃
	73	初	長 尾 賢 志 郎	〃		73	2	幸 田 朗	リンクスタッフグループ
	73					73	3	大 塚 遥 人	〃
	73					73	3	岡 田 達 志	セントラル警備保障
	73					73	3	伊 藤 海 央 音	北関東総合警備保障
	90	初	矢 部 雅 和	ク ラ レ		90	2	岸 良 武 輝	松波総合病院
	90	3	丹 波 弘 太 郎	東 レ		90	3	大 竹 龍 之 助	リンクスタッフグループ
	90	3	北 川 侑 瑚	〃		90	3	笹 間 幸 成	セントラル警備保障
	90	初	茶 圓 純 大	〃		90	3	渡 邊 稜 都	〃
	90	4	中 西 一 生	旭 化 成		90	初	石 黒 蒼 太	A L S O K群馬
	90					90	3	片 山 航 希	A L S O K
	無差別	3	新 井 滉 耀	東 レ		無差別	2	中 束 龍 人	松波総合病院
	無差別	2	小 上 展 寿	〃		無差別	4	佐 野 慶 征	A L S O K群馬
	無差別	3	川 田 修 平	旭 化 成		無差別	3	浅 居 充 洋	セントラル警備保障
	無差別	4	千 野 根 有 我	〃		無差別	4	菊 地 真 登	北関東総合警備保障
	無差別	3	鈴 木 直 登	〃		無差別	4	山 口 貴 也	A L S O K
	無差別	3	石 本 慎 太 郎	〃		無差別	3	小 嶋 洸 成	〃

J R					建設・電機・機械				
選手別	階級	段位	氏 名	所 属	選手別	階級	段位	氏 名	所 属
監督 コーチ 主務			山口耕右	J R 九州	監督 助監督			棚橋正典	豊田自動織機
			西田清二	J R 東日本				斎藤利輝	三菱重工名古屋
			上原正義	J R 東海				中島大勝	クラフティア
			鹿内健吾	J R 東日本				菅原健志	アドヴィックス
			及川大介	〃				野口修	建装工業
			三河和也	〃				井上智和	ジャパンエレベーターサービス
			松藤朗生	J R 九州				中山修	東芝
			那須紀彦	J R 東海					
			小栗尚文	〃					
選手	73	3	佐藤竜	J R 東日本	選手	73	2	荒木慎吾	クラフティア
	73	3	荒井俊貴	〃		73	4	木戸清孝	アドヴィックス
	73	2	堤大志	〃		73	3	柿山龍之介	三菱重工名古屋
	73	2	岡本瑞生	〃		73	2	増田耀馨	豊田自動織機
	73	2	舞田和己	J R 東海		73	3	市川晃次郎	ジャパンエレベーターサービス
	73	3	矢野大輝	J R 九州		73	3	羽田野啓太	〃
	90	3	近藤駿介	J R 東日本		90	2	高垣魁	三菱重工名古屋
	90	2	森田光裕	〃		90	2	榎並弘征	豊田自動織機
	90	3	祝貴之	J R 九州		90	2	小西雄大	建装工業
	90	3	山崎一秀	〃		90	3	大野翔太	〃
	90	3	名村慶太	〃		90	3	古田直也	東芝
	90	2	比嘉大翔	〃		90	2	山崎裕士郎	〃
	無差別	3	中藤誠	J R 東日本		無差別	5	前田峻登	アドヴィックス
	無差別	3	高木一石	〃		無差別	3	古川裕熙	〃
	無差別	3	弓削凜月	J R 九州		無差別	3	石川智啓	〃
	無差別	3	斗石凜太郎	〃		無差別	2	梅津昇波	豊田自動織機
	無差別	3	矢野湧真	〃		無差別	4	斉本研アレクサンドル	ジャパンエレベーターサービス
	無差別	3	糸瀬大輝	〃		無差別	3	池上拳伸	東芝





世界は

鉄で  
できている。



NIPPON STEEL

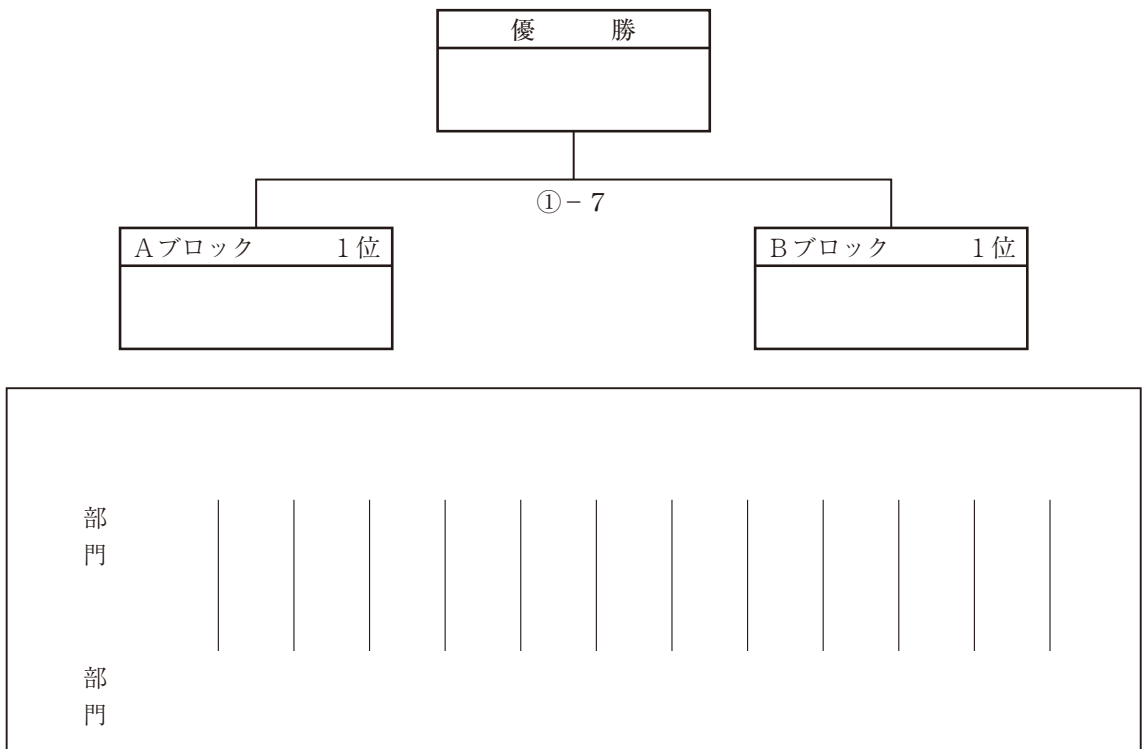
日本製鉄



スペシャルサイト

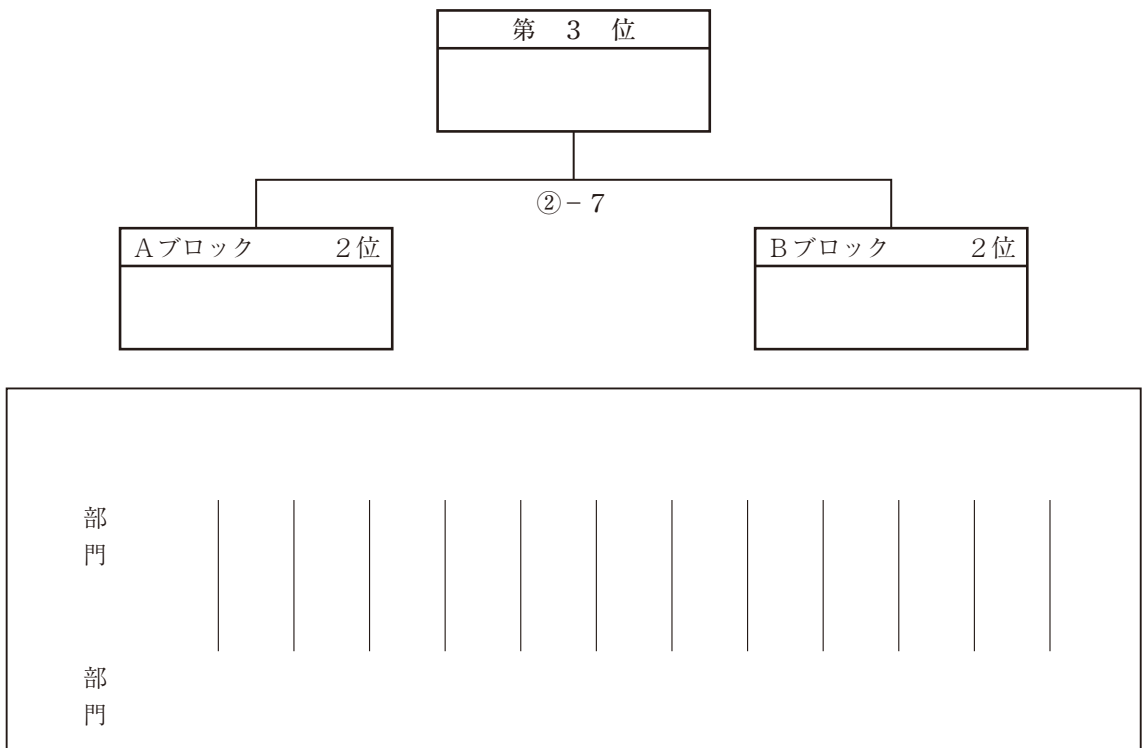


## 決勝戦



決勝・三位決定戦

## 第3位決定戦



# ともに、次の農業へ。

石川県能登地域では、地震の被害を受けた  
農地や牧草地などの復旧が、日々進められています。

復旧活動には、地域の支援機関が大きな役割を果たしており、  
コマツもICT技術を活用した  
「農業ブルドーザー」による支援を行っています。

特に水田においては、この「農業ブルドーザー」が  
力を発揮します。ブレードの自動制御により、  
操作経験の少ない方でも、高精度な均平化が可能。  
農家の方が、自ら亀裂の入った水田を修復することで、  
いち早く米作りの再開に取り組めるようになりました。

農業復興の進展が、能登地域の未来に、  
一筋の光をもたらしています。

農家、地域の支援機関、そしてコマツは、  
ひとつになって、ここから前へ。  
次の農業を目指していきます。

農業ブルドーザー D21PL



ひとつになって、  
次の農業を目指していく。  
コマツの取り組みを  
ご紹介します。

**KOMATSU**  
Creating value together

## 過 去 の 成 績

年	回	開 催 地	参加数	優 勝 団 体 名	
昭和28年	1	講 道 館	6	絨 維 部 門	
29	2	〃	6	絨 維 部 門	
30	3	〃	11	1 部	2 部
				鉄鋼部門	鉄鋼部門
31	4	〃	11	絨維部門	絨維部門
32	5	〃	11	石炭部門	絨維部門
33	6	〃	10	絨維部門	絨維部門
34	7	〃	8	鉄鋼部門	絨維部門
35	8	〃	10	絨維部門	絨維部門
36	9	〃	10	鉄鋼部門	絨維部門
37	10	〃	9	絨維部門	絨維部門
38	11	〃	10	絨 維 部 門	
39	12	愛 知 県 体 育 会 館	8	絨 維 部 門	
40	13	講 道 館	6	鉄 鋼 部 門	
41	14	〃	8	機 械 部 門	
42	15	〃	8	絨 維 部 門	
43	16	蒲 郡 市 民 体 育 館	10	機 械 部 門	
44	17	大 阪 市 立 修 道 館	9	機 械 部 門	
45	18	講 道 館	12	絨 維 部 門	
46	19	〃	11	鉄 鋼 部 門	
47	20	〃	11	絨 維 部 門	
48	21	〃	11	絨 維 部 門	
49	22	〃	11	絨 維 部 門	
50	23	〃	10	絨 維 部 門	
51	24	〃	11	絨 維 部 門	
52	25	〃	12	絨 維 部 門	
53	26	〃	12	絨 維 部 門	
54	27	〃	12	鉄 鋼 部 門	
55	28	〃	12	鉄 鋼 部 門	
56	29	新日鉄・名古屋体育館	13	鉄 鋼 部 門	
57	30	神 奈 川 県 立 武 道 場	13	絨 維 部 門	
58	31	〃	13	絨 維 部 門	
59	32	講 道 館	13	鉄 鋼 部 門	
60	33	〃	14	鉄 鋼 部 門	
61	34	〃	14	絨 維 部 門	
62	35	〃	15	1 部	2 部
				絨維部門	機械部門
63	36	〃	15	絨維部門	医療接骨部門



頑張れ！京葉ガス柔道部！！ つぎの「うれしい！」へ。 **KeiYO GAS**

## あらゆる印刷物を より良い“パートナーシップ”で

お客様のニーズに合わせてカタチにします。

お客様の制作意図をより深く理解し、ご満足いただけるデザインを創造します。  
きめ細かな対応で高品質印刷物の短期納品をお約束します。



印刷物制作の予算・部数・納期など企画の段階からご相談ください。  
写真撮影・デザインから印刷・納品までトータルにサポートします。

思い出メーカー  
**ダイコロ株式会社**

<https://www.daicoro.co.jp>

大阪本社 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近2-8 ☎072-850-0771(代)・大阪営業部 ☎072-819-5288・営業2課 ☎072-867-3436  
東京支社 〒131-0034 東京都墨田区堤通1-19-9 リバーサイド隅田セントラルタワー2階 ☎03-3619-6117 / 仙台支店 ☎022-355-6841  
名古屋支店 ☎052-747-7510 / 愛媛クリエイティブラボ / 広島支店 ☎082-249-6911 / 福岡支店 ☎092-413-3888



年	回	開 催 地	参加数	優 勝 団 体 名		
平成元年	37	講 道 館	15	1 部	2 部	
				繊維部門	印刷出版部門	
2	38	〃	15	繊維部門	情報流通部門	
3	39	〃	15	繊維部門	印刷出版部門	
4	40	〃	15	繊維部門	電機部門	
5	41	〃	15	繊維部門	水産食品部門	
6	42	〃	15	繊維部門	通信警備部門	
7	43	〃	15	繊維部門	建設部門	
8	44	〃	15	繊維部門	運輸部門	
9	45	〃	15	繊維部門	印刷出版部門	
10	46	〃	16	繊維部門	医療接骨部門	
11	47	〃	14	繊維部門	官公庁部門	
12	48	〃	12	医療接骨部門	運輸部門	
13	49	〃	12	通信警備部門	官公庁部門	
14	50	〃	12	通信警備部門	医療接骨部門	
15	51	〃	12	繊維部門	鉄鋼部門	
16	52	〃	12	繊維部門	官公庁部門	
17	53	〃	10	繊維部門	建設・電機部門	
2ブロック・リーグ戦へ移行				優 勝	準 優 勝	第 3 位
18	54	講 道 館	10	繊維部門	警備部門	
19	55	〃	10	繊維部門	警備部門	医療接骨部門
20	56	〃	10	繊維部門	鉄鋼部門	食品・印刷部門
21	57	〃	10	繊維部門	鉄鋼部門	警備部門
22	58	〃	10	繊維部門	鉄鋼部門	食品・印刷部門
23	59	〃	10	繊維部門	鉄鋼部門	警備部門
24	60	〃	10	繊維部門	鉄鋼部門	食品・印刷・サービス部門
25	61	〃	10	繊維部門	食品・印刷・サービス部門	鉄鋼部門
26	62	〃	10	食品・印刷・サービス部門	繊維部門	鉄鋼部門
27	63	〃	10	繊維部門	食品・印刷・サービス部門	運輸部門
28	64	〃	9	食品・印刷・サービス部門	繊維部門	鉄鋼部門
29	65	〃	8	食品・印刷・サービス部門	繊維部門	運輸部門
30	66	〃	8	繊維部門	食品・印刷・サービス部門	運輸部門
令和元年	67	〃	8	食品・印刷・サービス部門	鉄鋼部門	繊維部門
2	68	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止				
3	69	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止				
2ブロック・3階級別に移行				優 勝	準 優 勝	第 3 位
4	70	講 道 館	7	繊維部門	食品・印刷・サービス部門	建設・電機・機械部門
5	71	〃	8	食品・印刷・サービス部門	運輸部門	繊維部門
6	72	〃	8	食品・印刷・サービス部門	繊維部門	建設・電機・機械部門
7	73	〃	8			



# We Find the Way



## For Where You'll Go Next

すべてのビジネスには、成功へと導く最善の方法がある。それを見つけ出すためなら、いかなる努力も惜しまない。NIPPON EXPRESSは、151年にわたる豊富な経験をもとに、49カ国で事業を展開するグローバルロジスティクスのリーディング企業です。私たちが運び届けるのは、たとえば美術品、医薬品、半導体チップから航空エンジンまで、実にさまざま。ネットワークと高度な専門性を活かした提案力で、複雑化するロジスティクスの最適解を見つけ出します。あなたのビジネスの進む先がどこであっても、いつも近くで支えてゆく。私たちは、NXグループです。 [nipponexpress.com](http://nipponexpress.com)

**NEX NIPPON EXPRESS**  
We Find the Way



SINCE 1976



**GAJU&GANJU**  
KIAI GOODS

有限会社 **伊志嶺商会**  
武道衣 **沖縄南海堂**

代表取締役

**伊志嶺 朝之助**

Ishimine Tomonosuke

■本店 沖縄県那覇市首里末吉町4-2-9  
〒903-0801 TEL: 098-885-5537(代)  
FAX: 098-885-5538

E-mail: [info@ishimine.com](mailto:info@ishimine.com) <http://www.ishimine.com>

## 過 去 の 成 績 (女子の部)

年	開 催 地	優 勝 チ ー ム
平成6年	講 道 館	東 軍
7	〃	西 軍
8	〃	西 軍
9	〃	西 軍
10	〃	東 軍
11	中 止	———
12	講 道 館	西 軍
13	〃	西 軍
14	中 止	———
15	講 道 館	東 軍

平成16年以降中止



部門												
部門												

部門												
部門												

部門												
部門												

部門												
部門												

部門												
部門												

# 柔道界から 暴力・パワハラ・セクハラ をなくそう!



(公益財団法人) 全日本柔道連盟      コンプライアンス委員会

## これまでのコンプライアンス委員会活動状況とリーフレット作成の目的

全日本柔道連盟は、2013年8月に「暴力行為根絶宣言」の発出とともに「コンプライアンスホットライン」「目安箱」を制定し、「柔道における暴力の存在は決して許さない」という強い決意のもと、柔道指導者に限らず柔道を行うすべての者に対し、いかなる暴力行為も行わないことを強く求めてきました。加えて、2015年5月に「暴力・体罰・セクハラ問題を学ぶためのガイドブック」を発行し、2018年10月には「柔道界からパワハラをなくそう」リーフレットを発刊、全柔連HP・大会プログラム等に広く掲示し、「暴力・パワハラ・セクハラ」のない柔道界を目指してきました。

しかし、一時は改善の兆しを見せたかに思えた「暴力・パワハラ・セクハラ」問題でしたが、「選手の能力向上のためには指導の中で暴力も必要である」と妄信する指導者や年長者による問題

行為は収まることなく、今日までに多くの「暴力・パワハラ・セクハラ」等事案を処分の対象としてきました。また、表に出て処分の対象になった事案だけでなく、「指導とパワハラの境界線が不鮮明」と捉えてしまい、「指導の一環である」として表面化しない問題事案も多く存在すると言われています。

今回のリーフレットでは、実際に柔道指導に当たっている指導者が持っている「自分の指導は、大丈夫だろうか?」という問いに答えるべく、過去にあった事例を取り上げ、より具体的に、「自分自身にも起こりうること」として考えることができるようにすることを目標にしました。

このリーフレットが、柔道指導者がより良い指導を実現する一助になれば幸いです。

# 柔道界における

暴力

パワハラ

セクハラ

## 最近の主な実例

### 分類

### 内 容

**暴行・傷害を発生させる行為(必要以上に強く投げたり、マイッタしても絞め続ける行為も含む)**

Q 1 指導の一環であれば、多少殴ったり、けったりしても良いのではないですか？

Q 2 体罰は愛のムチであり、選手も親も望んでいます。「勝たせるため」にしているのだから許されますよね？

Q 3 生徒の言動に大きな問題(悪ふざけ、いじめ等)がありました。このような場合、体罰も必要ではないですか？

**事例1** 顧問が練習中、気合いが入っていない部員の顔をプラスチック製バットで殴り、ケガを負わせた。

**事例2** 監督が選手の試合に臨む態度、結果が気に入らないと、出場した2名に対して顔を平手打ち、足蹴り、突飛ばす等の暴力行為を行った。

**事例3** 生徒が絞め技・関節技に弱いことを懸念した指導者が、「自分たちもこの厳しさを乗り越えて強くなった」という信念で、乱取り稽古中に何度も生徒を絞め技で失神させた。



**Answer** 「暴力行為や暴言、精神的圧迫などで威嚇して、自分の言うことを聞かそうとする行為」は、虐待的行為として社会的に大きな問題とされています。残念ながら、柔道活動の現場では、「性根を叩きなおす」「気合を入れる」「愛のムチ」等の言葉を大義名分に、指導の為には必要なこともあると黙認されることがあります。しかしながら、現代社会において決して許されるものではありません。指導者自らが学ぶことを忘れず、選手との対話を通して、言葉での説明や手本を示すことで指導し、本人の気づきを大切にしながら励まして行くといった指導を心掛けましょう。

**脅迫・名誉棄損・侮辱・暴言・ひどい叱責(人格を否定するような言葉、むやみに怒鳴る行為も含む)**

Q 1 高い目標を達成するためには、集中力が必要です。「気を抜いたり、ミスをする」と指導者に叱られる」という緊張感が必要なのではないですか？

Q 2 指導者の「熱い思い・情熱」を選手たちに伝える為、あえて怒鳴ったり、厳しい言葉で叱責することは必要なことではないですか？

**事例1** ある柔道部顧問は練習態度や試合結果が気に入らないと、「死ね」「殺す」「ごみ」などの罵声を繰り返し浴びせた(暴力・体罰を伴う)

**事例2** ある選手が、部のルールに違反した。指導者は、「連帯責任」という名目で、同学年の選手全員を寮の外出禁止とし、食事当番や電話当番を強制したため、選手は学生の本分である授業や練習に出ることができなくなった。

**事例3** ある指導者は、気に入らない選手が挨拶しても無視し、アドバイスを求めても「お前にはしない」と言い放った。



**Answer** 当然、相手を侮辱したり、差別発言を繰り返すことは、パワハラとなります。指導者としては、「反発心を力に変える」「気合を入れなおす」「叱咤激励する」といった考えで、あえて大声で怒鳴ったり、汚い言葉を使っているつもりでも、選手は自尊心を傷つけられ精神的に落ち込むことが多いものです。暴言によって生徒や選手が精神的に追い込まれ、自殺に至ったケースもあります。暴言は、ときに人権侵害に結びつくのです。スポーツ指導においては、肯定的な言葉がけや矯正を目的とした言葉がけが重要であるとされています。それはまた、主体的に考え行動できる選手を育てることにつながります。指導者と選手に上下はなく、対等な関係であるという意識を持ち、一般社会で受け入れられる言動を心がけ、互いに気持ちよく活動できる環境をつくりましょう。

### ① 身体への攻撃

### ② 精神的な攻撃

### ③ 人間関係からの切り離し

#### 隔離・仲間外し・口をきかない等の行為(無視、練習相手をしない、指導をしない行為も含まれる)

Q1 生意気で指導者の言うことを聞かない選手には、その行為が皆に迷惑をかけることをわからせるために無視することも必要なのではないですか？

Q2 部の伝統に逆らったり、集団の輪を乱す部員には、「試合に出さない」「稽古に参加させない」等の罰は、必要なのではないですか？

事例1 先生から急な連絡を受けた上級生が、「練習に遅刻を繰り返す」「指示されたことを守らない」下級生にだけわざと、練習場所や時間の変更を伝えなかった。

事例2 ある指導者が選手に対し、「俺の前でよく柔道ができるな」「あんな身勝手な奴とは稽古するな」等の理不尽な発言を繰り返し、稽古をさせなかった為、選手は孤立した。



**Answer** 指導者の方針に従わない選手に対して、「無視」「稽古に参加させない」「試合に出さない」等によって、集団から孤立させる行為は、パワハラとなります。これが、「いじめ」等に発展し、退部や転校等につながれば社会的問題にもなりかねません。上下関係による「強制と服従」での指導は、選手が自発的に柔道を楽しむ権利を奪い、「選手自らが考え工夫する力」を育むことを阻害してしまいます。指導者は、「自分が一番正しいという妄想」を改め、他の人の意見にも耳を傾け、常に学び続ける姿勢を持ちましょう。

### ④ 過大な要求

#### 明らかに不要なことや実行不可能なことを要求すること(合理的な理由のない過度な練習も含む)

Q1 ある選手が手を抜いた稽古をしたので、罰として猛暑の道場で倒れこむまで打込みをさせました。気合を入れる為には、問題ないですよね？

Q2 勝敗を決めるのは、最後は精神力です。最後に勝てる強い選手を育てる為、限界を超えるくらいの練習をさせることは、問題ないですよね？

事例1 ある指導者は、試合で負けると、人が変わったように不機嫌になり、次の練習時に、腕立て伏せ千回、スクワット千回、打ち込み千回等の、過激な練習をさせるので、生徒や保護者は怪我をしないかととても不安だが、怖くて言いだせない。

事例2 ある指導者は、なかなか技の要領を覚えられない生徒に対していらだちを隠せず、「ろくに柔道の稽古ができないやつは、グラウンドでも走っている」とつきはなし、その後3時間もランニングを続けさせた。夏の暑い日で、あやうく熱中症になるところだった。



**Answer** ただ単に「精神力を高める」「根性をつける」等のために、厳しい稽古・長時間の練習を強いることは、パワハラというべきレベルだと考えられます。「過度の練習がスポーツ障害・外傷のリスクを高めること」をよく理解し、「柔道の特性等を踏まえた科学的指導法」を学んだ上で、個人差等にも配慮して練習メニューを設定しましょう。指導者は最新の指導法を学び、選手が競技として柔道をしている間だけでなく、競技を終えた後も「生涯柔道」を楽しむことができるような指導を心掛けましょう。

### ⑤ 過小な要求

#### 合理的な理由なく、程度の低いことをさせる、活動をさせない等の行為(1人だけ別メニューも含む)

Q1 指導方針にいちいち異を唱える選手に対し、「私の方針に反対なら、何もするな」と言い、見取り稽古だけにしました。問題ないですよね？

Q2 ちょっとしたことでもケガをしたといってくる選手がいます。煩わしいので、「元立ち」や「投込み」はさせません。問題ないですよね？

事例1 ある柔道部では、選手の練習にのぞむ態度が少しでも気に入らないと、「もう何もしなくていい」「道場の隅で正座でもしてる」「隅」「道場の外に出て入ってくるな」と冷たく言い放つ為、練習の雰囲気が悪くなり、みんな徐々にやる気を失っている。

事例2 ある指導者は、指導に従わない道場生に対し、みんなが見ている前で「俺の言うことが聞けないなら、道場から出ていけ」と追い出したきり、その後何のフォローもしなかった。



**Answer** 合理的な理由なく、「仲間とは違う程度の低いメニューを行わせる」「活動をさせない」等の行為は、「いじめ」「仲間外れ」に類する行為でパワハラとなります。また、「人間関係からの切り離し」に近い性質も持っています。どうしても、ある選手だけを別メニューにする必要がある時は、「どうして、その選手だけが違う練習をしなければならないのか」、その理由を本人だけでなく仲間にも丁寧に説明し、全体が納得した上で行うようにしましょう。



## ⑥ プライバシーの侵害

### 私的事項に過度に立ち入ること。家族関係・恋人の有無・休日の予定等、私的領域に踏み込む行為

- Q1 選手の生活を正しく管理することは、指導者の大事な役割です。プライベートなこともすべて知っておく必要があるのではないですか？
- Q2 試合で結果が出ない選手に対して、柔道の邪魔になる「男女交際」をやめるように言いました。問題ないですよね？
- 事例1 ある先輩が、柔道部の上下関係を利用して、新入生のプライバシー（恋人、家族関係など）に立ち入ってきて、いろいろなことを言うので後輩たちは皆まいてる。
- 事例2 ある指導者は、必ず親の職業を聞きだし、職によっては自分に便宜を図るように仕向けさせるので評判が悪い。



**Answer** 上司と部下、教師と生徒、先輩と後輩、指導者と教え子等の関係性において、「私的事項に過度に立ち入る」といったことが起こることがあります。柔道の指導とは全く関係がないのに、立場を利用して、家族関係、恋愛関係、休日の予定等のプライベートなことについて詮索することは、ハラスメントとなります（その行為が、男女関係に発展させることを意図したものであればセクハラ）。また、個人情報相手を相手の許可なく漏洩することは違法な行為となる場合もあります。「立場を利用して、無意識にプライバシーを詮索していることもある」ということを意識して行動しましょう。

## ⑦ セクシャルハラスメント

### 当事者の意に反した性的な性質の言動を行うこと。それによって一定の不利益を与えたり、活動環境を悪化させること

- Q1 「胸が大きいな」「ケツがかいな」等は、単なる冗談の一つです。大丈夫ですよ？
- Q2 女子選手は、生理の関係で調子に影響が出ます。選手の生理について把握し、状況を知る為に、常に質問しても問題ないですよ？
- Q3 選手とマッサージしながら会話することで、体調管理を行なうとともにコミュニケーションをとっています。異性ですが、問題ないですよ？
- 事例1 ある指導者が教え子に対し、寮や合宿中に「わいせつ行為」を繰り返した。
- 事例2 Tシャツの上から胸をじろじろ見てきて、「下着が透けてるぞ」などと言ってくる。
- 事例3 寝技などの練習中、不必要にお尻や胸を触ってくる。
- 事例4 試合中、柔道衣が汗で濡れて透けていたり、Tシャツの首の部分が伸びている時を狙って写真を撮ってくる。



**Answer** セクハラとは、「相手を不快にする、性的な言動」のことです。その行為が性別や意図的であるなしに関わらず、被害者や周りの人にとって不快なものであれば、セクハラとなります。柔道界では、時に指導者が選手に対して「絶対的権力」を有している状況が見られます。その関係性から、寮生活、合宿や遠征等で多くの時間と空間を共有する中、指導を口実とした身体接触（稽古中不必要に尻や胸を触る/無資格者によるマッサージや、密室の空間に2人きりになる等）が当然のことのように行われている現状があるのです。柔道にたずさわる人々が、安全に楽しく活動できるように、「柔道界においてセクハラは絶対に許さない」という強い姿勢を社会に示していきましょう。

## 生徒間の暴力・指導者・関係者の黙認・指導者の指示による学生間の暴力・私的交流におけるトラブル

**事例1 生徒間の暴力・指導者の黙認** - 校内、道場、寮で上級生から下級生へ殴る、蹴る等の暴力や恐喝行為が繰り返されていた。

**事例2 パワハラ・体罰が行われている場に居ながら、制止せず傍観** - 問題行動があった生徒に対し、ある指導者が、稽古中に「叩きつけるような投げ方」「故意に絞め落とし気を失ったところをビンタ」等を行った。副顧問も稽古に参加していたが、制止せず傍観していた。

**事例3 指導者の指示による学生間の暴力** - ある大学指導者が先輩部員に対し、遅刻するなど生活態度が悪い部員を厳しく指導しろと指示した。先輩部員は、練習でしごき（殴る、蹴る、絞め落とす等）、私生活でも暴力が常態化した。

**事例4 柔道関係者の私的交流におけるトラブル** - 県の柔道行事のあと飲食、二次会で行きつけのスナックに行った。Aが言葉遣いを叱責したところ、Bが従わず口論となり、Bが首筋を掴みかかる等の行動に出て、Aも相手の顔面を殴る等の暴力を加えた。



**Answer** 「あらゆる暴力やハラスメントは、しない・させない・許さない」という強い意識を常にとって指導に当たることが大切です。自身が気をつけるだけでなく、コンプライアンスに問題のある行動を見かけたら、黙認や隠ぺいをせず改善に向けた適切な行動をしましょう。指導者・選手・関係者全員が、「暴力や暴言は許されない」ということをしっかりと認識し、自由に意見を言い合うことのできる組織、チーム・環境を作ること心掛けましょう。

## ご相談窓口

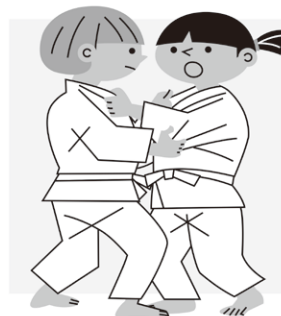
全日本柔道連盟ホームページ(<https://judo.or.jp>)から「全柔連について」→「ご相談窓口」へ進んでください。

### 都道府県柔道連盟(協会)

都道府県柔道連盟に関することは、都道府県窓口担当者にご相談ください。

### 全日本柔道連盟「柔道目安箱」

- ☐ **対象者**：どなたでもご利用できますが、内容によって、全日本柔道連盟が対応する場合と都道府県柔道連盟が対応する場合があります。
- ☐ **受付方法**：封書またはメール  
※全柔連HPの「ご相談窓口」から「柔道目安箱」を選択し、「投稿フォーム」に記入してご送付ください。  
(メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください)
- ☐ **郵送先**：〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 全日本柔道連盟 倫理推進室「柔道目安箱」係
- ☐ **メール送付先**：[rinri@judo.or.jp](mailto:rinri@judo.or.jp)



### 全日本柔道連盟「内部通報制度(コンプライアンスホットライン)」

- ☐ **対象者**：全柔連登録会員、全柔連及び加盟団体の役職員
- ☐ **受付方法**：封書またはメール  
※全柔連HPの「ご相談窓口」から内部通報制度(コンプライアンスホットライン)を選択し、「受付表」に記入してご送付ください。窓口は2ヶ所あります。(メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください)
- ☐ **郵送先**：〒105-0003 東京都港区西新橋 1-21-8 弁護士ビル 807号  
あたらし橋法律事務所 赤堀文信弁護士気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- ☐ **メール送付先**：[akahori@atarashibashi.com](mailto:akahori@atarashibashi.com)
- ☐ **郵送先**：〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-7 赤坂光陽ビル 5階  
山田・尾崎法律事務所 山田奈美香弁護士気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- ☐ **メール送付先**：[n.yamada@yamada-ozaki.com](mailto:n.yamada@yamada-ozaki.com)

## 「暴力・パワハラ・セクハラ」を起こさないために

### 1. 勝負がすべてではありません

柔道には、負けて学ぶことも多くあります。「勝敗」以外にも大事なものがあつたことを認識し、勝利至上主義に陥らないようにしましょう

### 2. 加害者も、被害者も不幸になります

「暴力・パワハラ・セクハラ」は、被害者だけでなく、加害者にとつても不幸をもたらすことを自覚し、思わず手が出そうになったり、暴言を吐きそうになったときには、自分を抑える忍耐力、コントロールする能力を持ちましょう。他者を支配できると思つてはいけません

### 3. プレーヤーの自発性を引き出すコーチング

プレーヤーの気づきを促して、自ら考え、工夫することを通して成長へと導いていく指導を基本としましょう

### 4. 学び続ける姿勢を持つ

コーチングに関する最新の情報を手に入れ、プレーヤーに新しい技術や知識などを的確にアドバイスできるよう、指導者自らが常に学び続ける姿勢を持ちましょう



実践! グッドコーチング  
～暴力・パワハラのないスポーツ指導を目指して～  
PHP 研究所

## 柔道 MIND 活動のねらいを、今一度考えてみましょう

相手への尊敬、信頼を示すものが礼法であり、他人に依存していることを自覚するのが真の「自立」です。それにより相手への感謝、尊敬の念が生じ「礼節」となります。さらに、「M 礼節」と「I 自立」の相互作用により正々堂々とした「N 高潔」さが示され、自ずと信頼が寄せられるようになり「D 品格」が完成されます。木を成長させていくことで、この相乗成長する過程をデザインして、柔道 MIND をわかりやすく表現いたしました。



嘉納治五郎師範は、「世の中の為に有為な人間を育成する教育理念」を最も重視しました。師範は、柔道を学ぶ者が到達すべき最高の目標として、

「精力善用」(善を目的に心身の力を最も有効に使用すること)

「自他共栄」(自分と他人との調和をはかり、お互いが繁栄して行くようにすること)

という言葉を残されました。この2つの言葉の意味をしっかりと理解するとともに、日々鍛錬し技を磨く中で、心の修養に努め、「自己を完成し、世の中の役に立つ人になる」という究極の目的に向かって努力して行くことが最も大切なことです。柔道修行は、人として正しく成長する為に有用であるばかりでなく、望ましい社会を作りだすことにも大きく貢献できる要素を持っています。





japan elevator service



何よりも安全のために  
見えないからこそ手を抜かない  
信頼を礎に



エレベーター等昇降機メンテナンス・リニューアル

エスカレーターメンテナンス

立体駐車場メンテナンス

japan elevator service



**japan elevator service**

ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13 東京建物日本橋ビル5階 設立:1994年10月/東証プライム市場(6544)

<https://www.jes24.co.jp/>

誰かが決めたルールに、しばられない発想を。  
誰かが決めた限界を、壊していく活動を。  
誰かが決めた常識を、疑っていく哲学を。  
誰かが決めた枠組みに、おさまらない夢を。  
技術、という共通の言語で。  
企業も、国も、文化も超えて。  
すべてのいのちと暮らしに貢献するために。



はみだせ!  
うみだせ!  
旭化成

AsahiKASEI